



2020/2/13

1

予算の全体像

- 平成28年度以来の骨格予算
 新しいリーダーの下で、事業効果を再評価・検証し、
 新たな政策提案とともに、肉付け(補正)予算を編成
 以下の点を考慮し、当初予算(骨格)案をとりまとめ
 - ◆義務的経費、継続事業の推進費を措置
 - ▽民生費(社会保障関連等)[約518億円]
 - ▽ごみ処理施設改築、高機能消防指令システム更新
 - ◆早期着手が必要な事業費への積極的な予算措置
 →市民生活に欠かせない事業は切れ目なく推進

令和2(2020)年度予算

持続可能なまちと健全財政の実現に向けて

- 大津市の将来を描いた計画
 - 大津市総合計画[第1期実行計画]
 - 大津市・志賀町合併建設計画
 - ※R2年度末、合併特例事業債発行上限額に到達
 - 大津市まち・ひと・しごと総合戦略
- 効率的な行財政運営を目指した計画
 - 大津市行政改革プラン2017
 - 予算編成基準・大津市中期財政フレーム

令和2(2020)年度予算

- 社会保障制度の運営と継続事業の推進
 - ・ごみ処理施設改築(H30~R4年度 約347億円)
(元年度)約45.3億円→(2年度)約94.3億円
 - ・中学校給食運営費の通年化[R2年1月~開始]
学校給食事業特別会計の規模 +8.77億円
(元年度)18.61億円→(2年度)27.38億円
 - ・社会保障関連 民生費、各保険事業会計
(元年度)857.7億円→(2年度)844.3億円

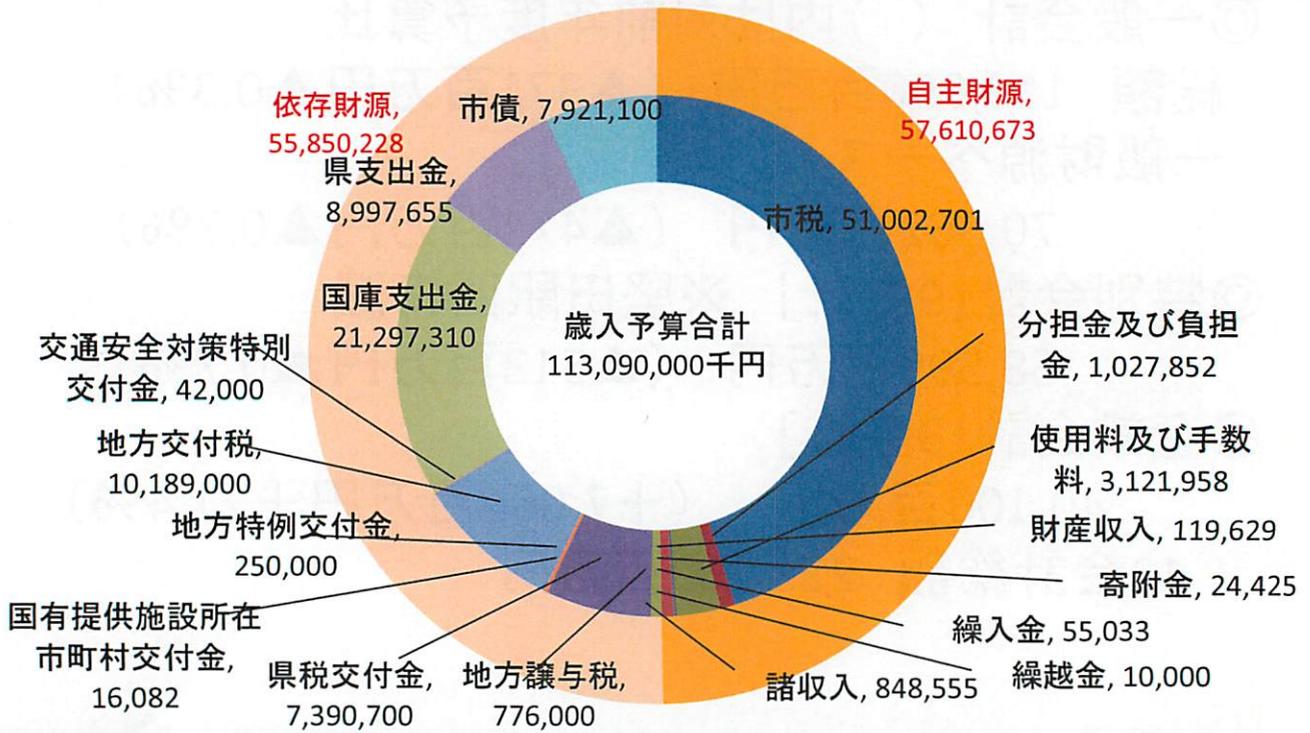
令和2(2020)年度予算

- ◎一般会計 ()内は対前年度予算比
総額 113,090百万円 (▲371百万円▲0.3%)
一般財源ベース
70,362百万円 (▲472百万円▲0.7%)
- ◎特別会計[9会計] ※堅田駅西口減
68,599百万円 (▲513百万円▲0.7%)
- ◎企業会計[3会計]
40,100百万円 (+7,064百万円+21.4%)
13会計総額 221,789百万円

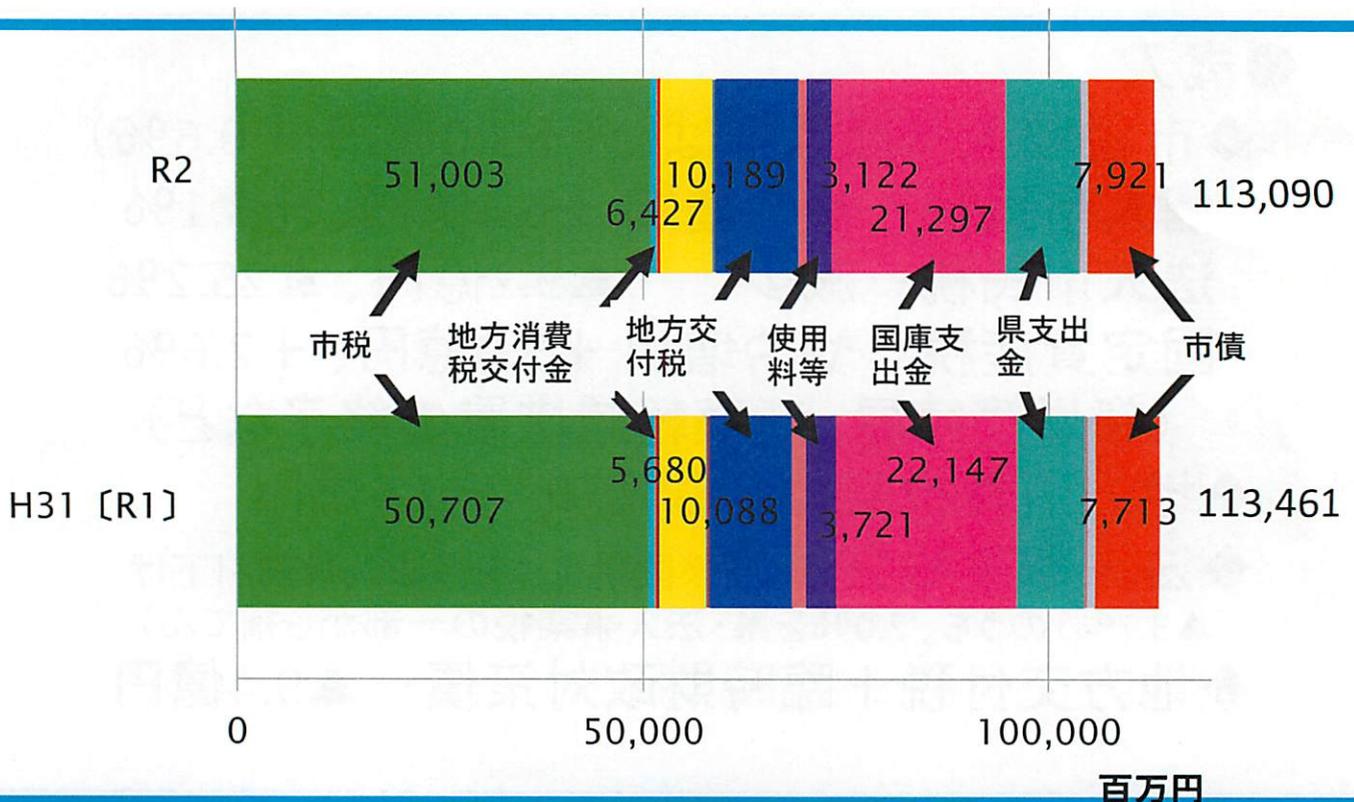
令和2(2020)年度一般会計歳入

- 歳入
 - ◆市税収入はほぼ横ばい(+3.0億円 +0.6%)
個人市民税・・やや増加 +6.3億円、+3.1%
法人市民税・・減少 ▲9.2億円、▲25.2%
固定資産税・・やや増加 +5.0億円、+2.6%
(新增築家屋、新築軽減措置の終了など)
 - ◆地方消費税交付金は増加 +7.5億円
 - ◆法人事業税交付金※国税化に伴う法人税割引下げ
(▲3.7%)のうち、2.0%を県・法人事業税の一部から補てん
 - ◆地方交付税+臨時財政対策債・・▲9.4億円

一般会計歳入予算(千円)



歳入予算 対前年度比



●歳出

◆目的別

民生費▲11.9億円 構成比46.7%→(R2)45.8%

衛生費+61.4億円 構成比11.4%→(R2)16.9%

教育費▲41.7億円 構成比11.9%→(R2)8.3%

ごみ処理施設改築費の増、新東部調理場整備終了

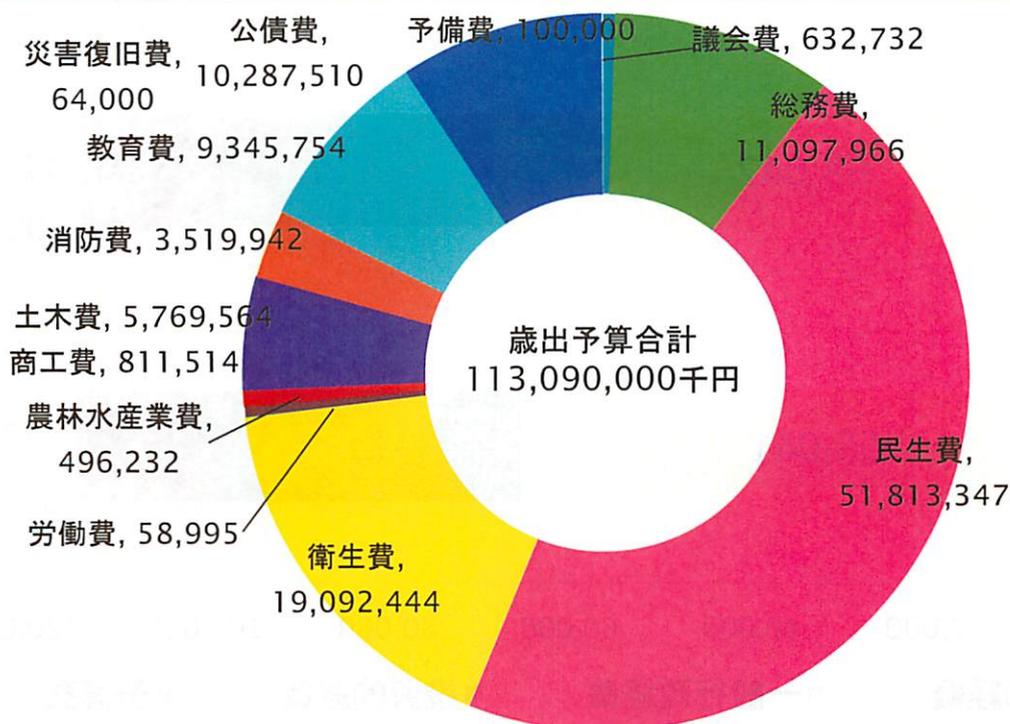
◆性質別

人件費+28.3億(物件費▲29.7億・・会計年度任用職員)、

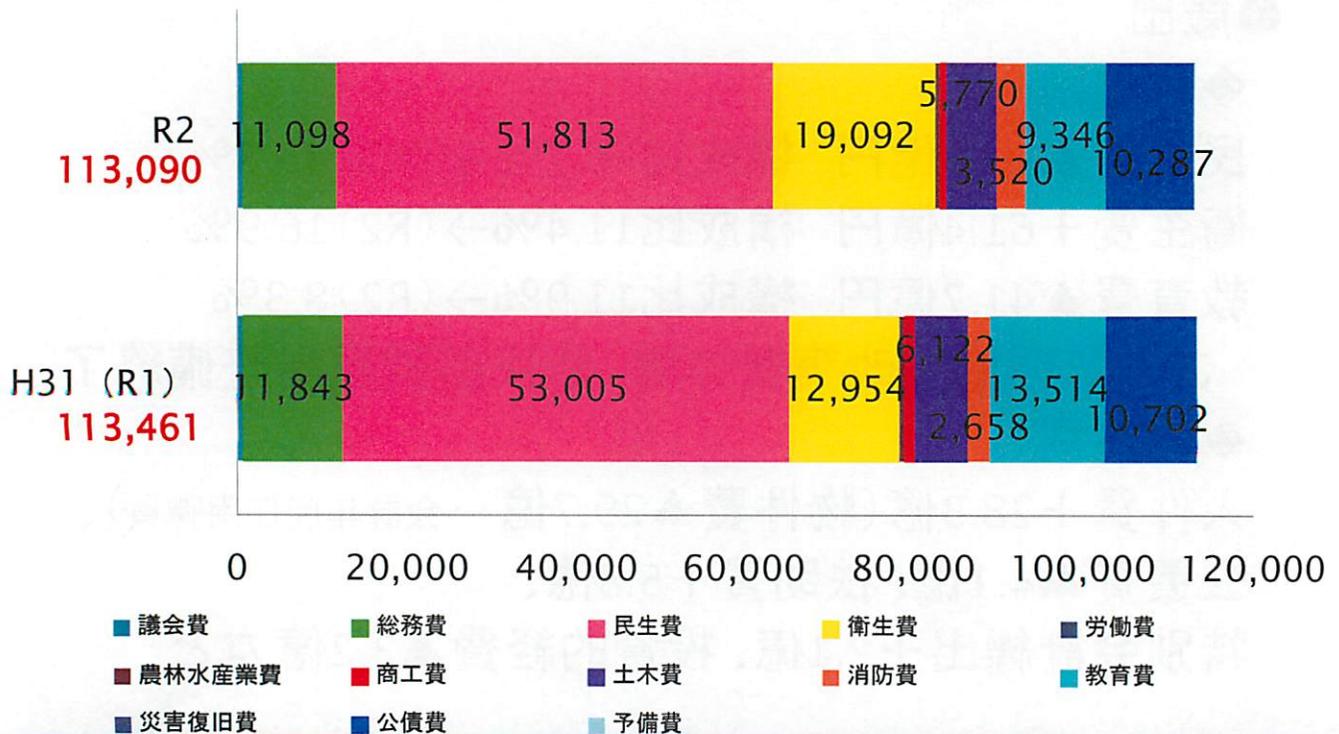
公債費▲4.1億、扶助費+5.8億、

特別会計繰出+2.1億、投資的経費▲3.2億 など

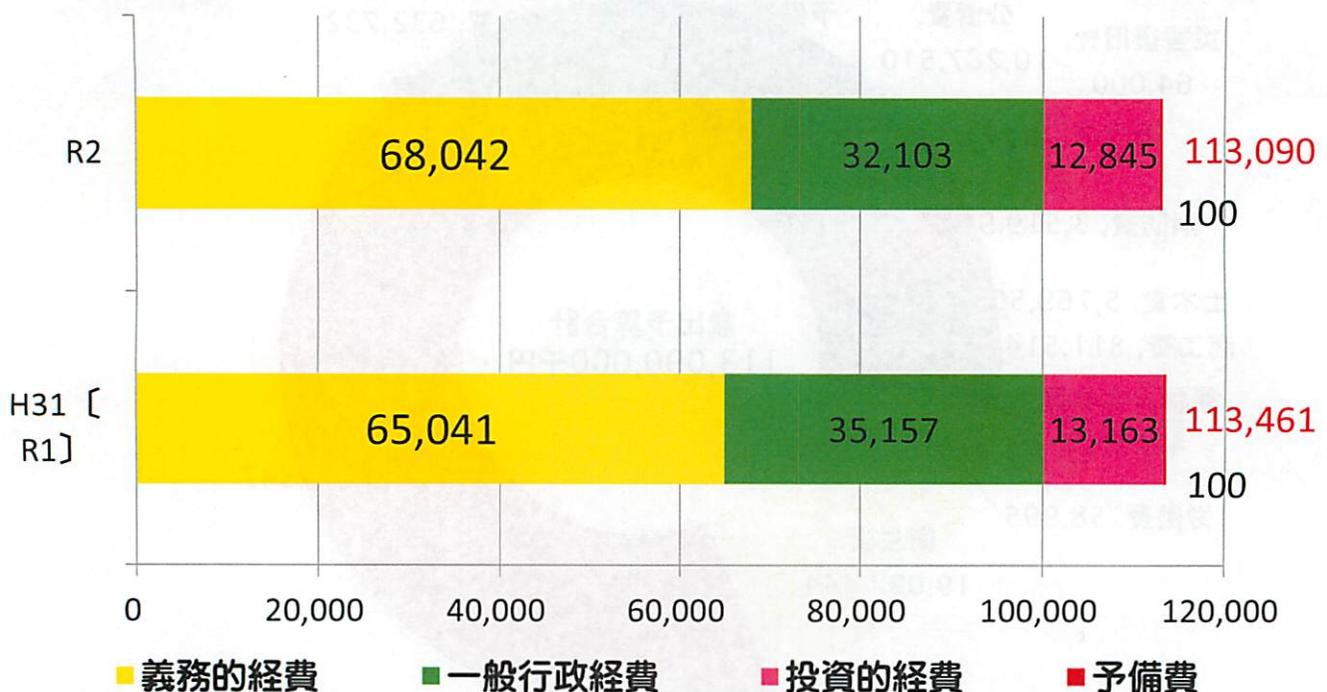
一般会計歳出予算(千円)



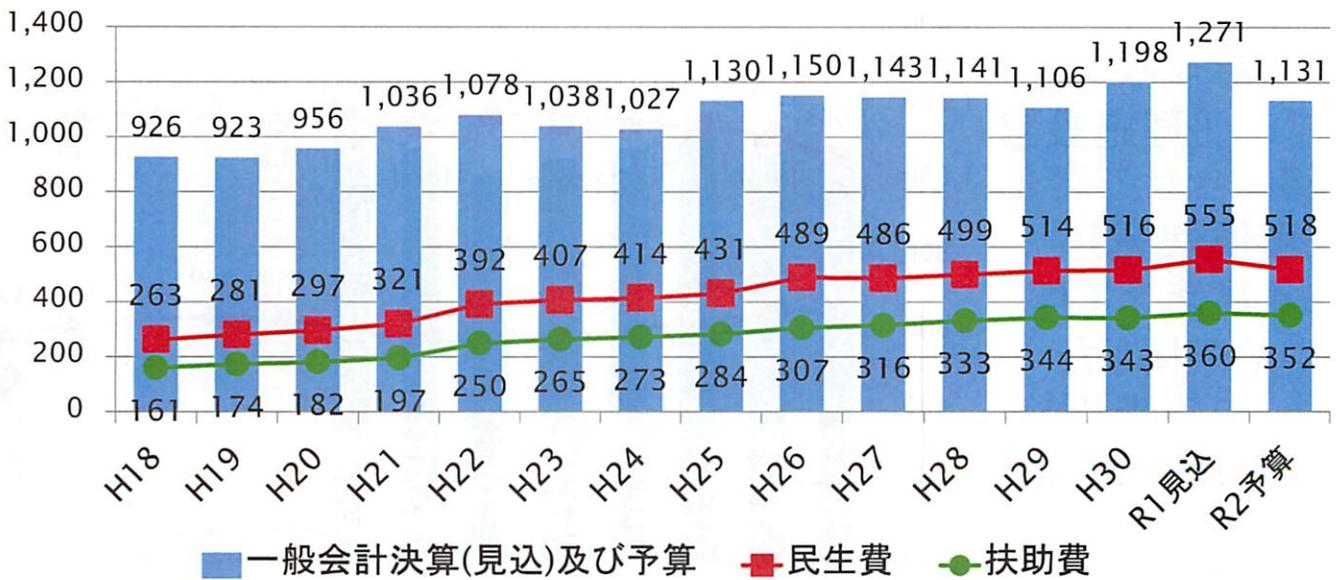
歳出予算 対前年度比(百万円)



歳出予算(性質別)対前年度比

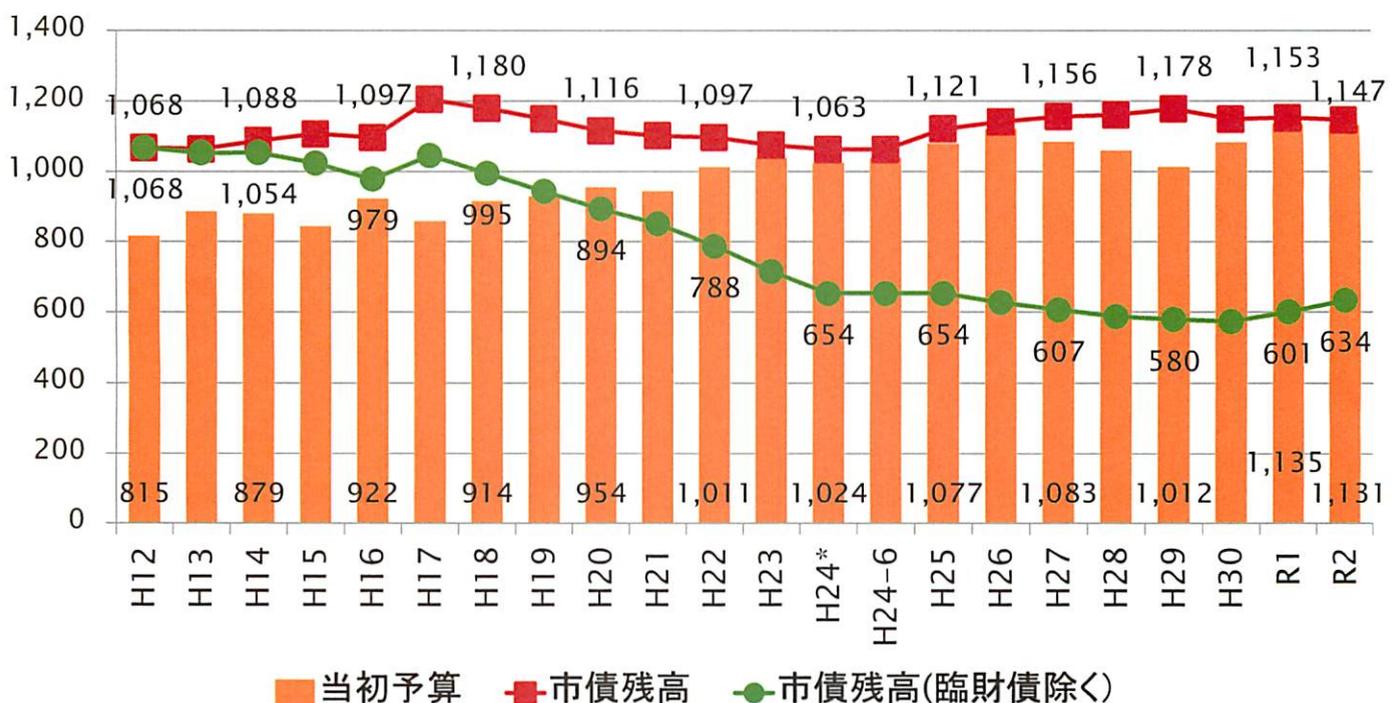


民生費、扶助費の変化(億円)



● 社会保障等関連経費が増加 … 民生費〔目的別〕及び扶助費〔性質別〕
→ 令和2年度予算〔骨格〕において、扶助費は年間予算を措置

一般会計予算と市債残高(億円)



今後の予算と市債残高(億円)

〔会計規模〕
 ごみ処理施設整備に合せて変化
 〔市債残高〕
 2年度末までに、
 やや下降した後、ごみ処理施設整備の進捗に合せて上昇
 ※中期財政フレーム上の推計

